

第1部パネル

分科会 13 ケアプランに生活支援の助け合い活動及び本人のいきがい活動をどう取り入れるか



進行役 江田 佳子 佐々町住民福祉課課長補佐

- 登壇者 熊谷 美和子 (特非) たすけあい平田理事長
- 瀬戸 健太 寝屋川市高齢介護室
- 水上 直彦 (一社) 日本介護支援専門員協会 介護保険制度・報酬委員会委員長
- 安本 勝博 津山市健康増進課
- 川部 勝一 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課課長補佐

大阪サミットで「地域の暮らしに視点を置いて」と提言したケアプランをさらに深め、本人らしい生き方をするための「人生のケアプラン」にするにはどんな方策があるか (大阪 分科会15)

第2部パネル

分科会 14 新規 個人の住宅を地域に開くには、どうすればよいか



進行役 高橋 紘士 東京通信大学教授、(一社) 高齢者住宅協会顧問、(一社) 全国ホームホスピス協会理事



アドバイザー 西村 周三 医療経済研究機構特別相談役、京都先端科学大学経済経営学部教授

- 登壇者 三浦 研 京都大学大学院工学研究科教授
- 宇津崎 光代 (一社) 日本住育協会理事長、(株) ミセスリビング代表取締役
- 夏目 幸子 (特非) 住まい・まち研究会理事長

「住まい」にはもともと地域とつながるための縁側や応接間があったが、最近の住宅は地域から閉じてしまった。ところが、再び住まいを地域に開放する試みが現れてきており、その可能性を探りたい

第2部パネル

分科会 16 介護におけるエンパワーメントと自立支援のあり方は何か



進行役 中村 秀一 (一社) 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長

- 登壇者 秋山 由美子 元世田谷区副区長、(特非) 日本地域福祉研究所理事
- 井上 由起子 日本社会事業大学専門職大学院教授
- 大河内 二郎 介護老人保健施設電間之郷施設長
- 近藤 克則 千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門教授
- 二神 雅一 (株) 創心會代表取締役

大阪サミットでエンパワーメントと自立支援の基本的なあり方が整理されたので、今回は施設と在宅におけるあり方や住まいとまちづくりの視点からのあり方を論じる (大阪 分科会28)

分科会 15

新規 自分らしく暮らせる施設の選び方



進行役 新津 ふみ子 (特非) メイアイヘルプユ一理事長

- 登壇者 対馬 徳昭 つしま医療福祉グループ代表
- 本間 郁子 (公財) Uビジョン研究所理事長
- 藤田 卓也 (社福) 愛生福祉会常務理事

尊厳をもって自分らしく暮らすことのできる施設のあり方を実例にのっとして、ソフト面及びハード面から探っていく

分科会 17

子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか

(企画・協力：にっぽん子ども・子育て応援団)



進行役 奥山 千鶴子 (特非) 子育てひろば全国連絡協議会理事長

- 登壇者 河原 廣子 (特非) かもママ理事長
- 近藤 博子 「気まぐれ八百屋だんだん」店主・こども食堂主宰
- 中村 俊一 (一社) プレーワーカーズ理事

大阪サミットでは定年男性の活躍ぶりが感銘を呼んだが、今回はいま勢いよく広がっているこども食堂や共生型居場所における交流ぶりを紹介して、あり方を考える (大阪 分科会18)